

学籍番号	氏 名	担 当 教 員	テ ー マ	
M30-0148	谷本 汐音	大曾根 先生	承認印	おうち BAR ～店舗検索機能の開発～

1. 研究目的

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で外食が減り、お酒を楽しむ機会が減った。そこで、様々なお酒の楽しみ方を提案する「おうちBARシステム」を制作することにした。気分や好みに合ったカクテルを自宅で楽しめるカクテル提案機能に加え、家飲みで興味を持ったカクテルを外でも楽しむための店舗検索機能を付加した。カクテル提案機能でカクテルに興味を持ってもらい、店舗検索機能で実際のバーに行ってもらうことを目的とした。

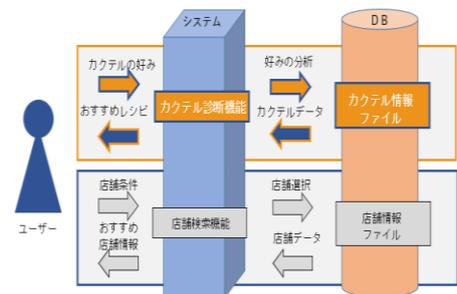


図1 システム概要図

2. システム概要

本システムは、コロナ禍において多様化した飲酒への向き合い方に寄り添って、家と外など異なるシチュエーションでのお酒の楽しみ方を提案するシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の2つの機能を持たせた。

- (1) カクテル提案機能：ユーザの好みに合わせたカクテルを提案する機能である。
- (2) 店舗検索機能：ユーザの条件に合う店舗を検索する機能である。



図2 店舗情報画面

3. 店舗検索機能の開発

本機能は、コロナ禍で楽しんだ宅飲みを、コロナウイルスが収束した際に、外でも楽しんでもらえるように、ユーザに合ったバーを検索することを目的としている。バー初心者に対し、バーに好感を抱いてもらえるようにしたい。本機能には、以下の2つの機能を持たせた。

- (1) バー検索機能
ユーザに合った条件を様々な項目から選択してもらう。その条件に合ったバーを検索し表示させ、検索結果に、そのバーのおすすめカクテルに合った料理や軽食を表示させる。その画面仕様を図2に示す。



図3 バー入門講座画面

- (2) バー入門講座機能
バー初心者でも、バーに気軽に足を踏み入れてもらえるように、このバー入門講座のクイズを通してマナーなどを学習させる機能である。その画面仕様を図3に示す。

4. 研究成果

- (1) バー検索機能により、お店の雰囲気やおすすめのドリンクがわかるようになった。
- (2) バー入門講座機能により、バー初心者でも気軽にバーに行けるようになった。

5. 残された課題

- (1) 新宿だけではなく、小田急線上のバーにもに対応できるようにしたい。
- (2) より実際に店舗を訪れた時に近づけるように入門講座をストーリー形式にしたい。

キーワード	お酒、カクテル、バー、初心者、マナー				
種類	システム開発	手法	データ検索	データ源	はらへり
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio2017	使用言語	Visual Basic

